

【富士見市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

既習事項を活用し、問題を発見・解決していく過程において、1人1台端末を課題解決の手段（ツール）として効果的に使いこなし、他者とかかわりながら、自らの学びを深める児童生徒。

2. GIGA第1期の総括

（1）GIGA第1期の課題とその対応について

①ネットワーク環境について

学校のネットワーク環境について、アクセスポイントの能力不足や通信環境が十分でないため、インターネットに繋がらない端末が発生し、授業がスムーズに実施できないことがあった。このため、令和7年度に高性能のアクセスポイントに更新するほか、1G回線2本であったインターネット回線を10G1本、1G1本に変更し、通信環境の改善を図る。

②端末の予備機について

端末の経年劣化等による故障の増加に伴い、予備機不足が生じたことから、GIGA第2期では、Windows端末を故障の少ないiPadに切り替えるほか、十分な予備機を確保することで、学びを止めない学習環境を整備する。

3. 1人1台端末の利活用方策

（1）1人1台端末の積極的活用

教職員向けのICT活用技能研修会を実施することで、児童生徒が1人1台端末を文房具のように使いなせるよう、教職員のICT活用指導力の向上を図る。

（2）個別最適・協働的な学びの充実

教職員と児童生徒又は児童生徒同士がクラウド型授業支援システム等でやり取りするとともに、児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組める環境を整備することで、個別最適・協働的な学びの充実を図る。

（3）学びの保障

端末を活用した教育相談や不登校児童への支援、外国人児童生徒に対する学習活動等の支援に取り組むほか、障害のある児童生徒や特別な支援を要する児童生徒に対して、その実態に応じた支援を実施する。